

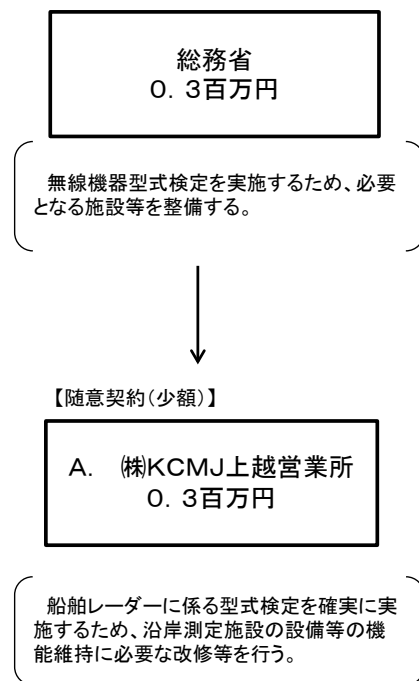
平成25年行政事業レビューシート

( 総務省 )

事業名	総務省本省施設整備費(沿岸測定用簡易型鉄塔施設)		担当部局庁	総合通信基盤局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	電波環境課	課長 星 克明		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	電波法第37条 無線機器型式検定規則		関係する計画、通知等	海上人命安全条約(1974年)等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際条約により、主管庁が行わなければならないこととされている無線機器の型式検定を実施するため、船舶用レーダに係る型式検定の試験に必要な施設を整備し、維持する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際海事機関(IMO)の海上安全委員会(MSC)において、新たな船舶用レーダーの性能基準が導入され、その試験方法が国際電気標準会議(IEC)の規格として制定されたことを受け、我が国においても、国際的な基準に基づく試験方法により船舶レーダーに係る型式検定を実施するため、平成21年度に船舶レーダー型式検定試験用沿岸測定装置を施工し試験環境を整備した。 国際条約を遵守し、国際的な基準と調和した試験方法により、船舶レーダーに係る型式検定を確実に実施するため、沿岸測定施設の設備等の機能維持に必要な補修等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	3	3	1	1	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	執行額	3	3	1	1		
	執行率(%)	1	2	0.3			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	沿岸測定施設の設備等の損耗に応じ、機能維持に必要な補修等を行うものであるため、成果目標は設定していない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	沿岸測定施設の設備等の損耗に応じ、機能維持に必要な補修等を行うものであるため、活動指標は設定していない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
				( - )	( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	-		(円/ )	算出根拠	-		
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	1					
	計	1					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本件沿岸測定用鉄塔施設は、船舶の安全な航行のため、国際条約により国が行うこととされている無線機器型式検定で使用する設備である。本事業は設備の機能維持に必要な補修等を行うものであり、優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業については、複数業者からの意見聴取や見積り取得等を行い、機能維持に必要な補修等を実施するための仕様書を作成した。 なお、平成24年度は、気象条件により想定していたよりも塩害が軽微で補修対象箇所が限定的であったため、予算額(100万円)に対する執行率は34%となった。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事 業 性 の 有 効	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	沿岸測定施設の設備等を使用することによる同設備の損耗に応じ、機能維持に必要な補修等を行うものであるため、成果目標及び活動指標は設定していないが、当該施設は平成24年度に型式検定1件で使用しており、平成25年度においても新たに導入される船舶用レーダーの試験等での使用が見込まれる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>本件沿岸測定用鉄塔施設は、船舶の安全な航行のため、国際条約により国が行うこととされている無線機器型式検定で使用する設備であり、機能維持に必要な補修等を行うため、引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>本件施設は海岸沿いに設置されており、可動部分等が錆等で損傷したり、強風等により施設の一部が損傷したりするおそれがあるため、安全性の確保及び機能維持のため、定期的な再塗装等の保守が必要である。</p> <p>台風等により大きな被害を受けた場合は別として、錆等の補修の場合には小額の補修費用で足りることから、施錠された当該施設の見積りのための調査を業者の都合に合わせて頻繁に行うことは現実的ではなく、必要な補修の程度に合わせて柔軟に対応していくこととする。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0003	平成23年	0007	平成24年	0007

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A. (株)KCMJ上越営業所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	設備工事費	0.3			
計		0.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株KCMJ上越営業所	沿岸測定用簡易型鉄塔施設改修	0.3	随意契約(少額)	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					